

フォーラムテーマ:「政策の当事者としての市民・再考」

* フォーラムの目的

政策情報学フォーラムの目的は、議論を行う上で時間的制約などがある研究大会などのイベントとは異なり、小規模で政策情報学に関連した様々なテーマを取り扱い、時間をかけた密度の高い議論を行っていくことにあります。また、さまざまな異なる立場の交流と協働の「開かれた対話と創造の場」として構想されており、現実のさまざまな政策問題を探求、検討し、実際にその解決策を提示しながら、社会の持続的発展に寄与することを狙いとしております。

開催日時: 2019年7月13日(土) 14:30~17:00

開催会場: 千葉商科大学 丸の内サテライトキャンパス「Galleria 商.Tokyo」
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル 1F(お堀側)

フォーラムテーマ趣旨説明: 2012年12月に開催された政策情報学会第8回研究大会で「一般化された政策とその当事者としての市民: 未来設計の観察者から当事者へ」と題して、「政策の当事者としての市民像」が模索されたが、その後、地域社会のあり方が変容し、実際に政策の当事者として活発に活動する市民が増えてきた。今回のフォーラムでは、東京大学公共政策大学院が主催する「チャレンジ! オープンガバナンス(COG)2018」において、「ラジ体 GO! から始まる自治会の RE デザイン」でミニプレゼン部門の2位に入賞した他、「SIM もばら 2030」など自治体シミュレーションゲームの開発など実際に活発な地域活動を続けておられる「シビックテックもばら」の活動をご紹介いただくと共に、実際に活動されている市民との対話を通じて、「政策の当事者としての市民」像をアップデートしていければと考える。

基調報告講師: 篠田 智仁 様 (茂原市役所・シビックテックもばら副代表)

齋藤麻由美 様 (UX クリエイター・シビックテックもばら)

基調報告演題: シビックテックもばらの活動~SIM もばら 2030・ラジ体 GO! などを通じて~

プログラム:

14:30-14:40	開会挨拶 政策情報学会 会長 若井郁次郎 (モスクワ州国立大学講師)
14:40-14:50	フォーラム趣旨説明 フォーラム実行委員会委員長 朽木量 (千葉商科大学)
14:50-15:50	基調報告 「シビックテックもばらの活動~SIM もばら 2030・ラジ体 GO! などを通じて~」
15:50-16:00	休憩
16:00-17:00	フロア討論・まとめ
17:30-19:30	懇親会 (JR 有楽町駅周辺)

主催: 政策情報学会 <http://www.policyinformatics.org/>

共催: 千葉商科大学政策情報学部

参加費: 無料 (懇親会に参加される方は別途実費負担となります)

出欠連絡の方法: 準備の都合上、出席・欠席に関わらず、できるだけ7月6日土曜までに以下の URL から出欠連絡をお願いいたします。

<http://www.policyinformatics.org/event/forum/14th/form.html>

※非会員の方の参加も大歓迎です。 ※当日の飛び入り参加も歓迎いたします。

交通アクセス: <http://www.cuc.ac.jp/access/index.html#marunouchi>

- JR「有楽町駅」(国際フォーラム口)より徒歩 2分
- 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」直結
- 都営地下鉄三田線「日比谷駅」直結

